

- (1) **is**
be going to の構文で、主語がshe(三人称単数)なので is を使用します。「彼女は祖母を訪問する予定です」という意味です。
- (2) **be**
won't は will not の短縮形で、その後に動詞原形 be が続きます。「私は学校に遅刻しないでしょう」という意味です。
- (3) **are**
be going to の構文で、主語がthey(複数)なので are を使用します。「彼らは明日テニスをする予定です」という意味です。
- (4) **will**
未来の予測や可能性を表すため will を使用します。「この本はあなたにとって面白いでしょう」という意味です。
- (5) **will**
will not(won't の長形)で否定を表します。「私たちは来週ビーチに行かないでしょう」という意味です。
- (6) **is**
be going to の構文で、主語がit(三人称単数)なので is を使用します。「今午後は雨が降る予定です」という意味です。
- (7) **He is going to come tomorrow.**
be going to の構文では主語 + be + going to + 動詞原形となります。「彼は明日来る予定です」という意味です。
- (8) **Will you come on Friday?**
will の疑問文では Will + 主語 + 動詞 となります。「あなたは金曜日に来ますか?」という意味です。
- (9) **The train will arrive at 5 o'clock.**
will の肯定文で、時間を表す副詞を含みます。「その列車は5時に到着するでしょう」という意味です。
- (10) **ア. She is going to go to the party on Saturday.**
既に計画されている予定なので be going to を使用するのが適切です。予め計画された未来の行動を表します。
- (11) **イ. It will rain tomorrow.**
瞬時の判断や予測を表すため will を使用します。「多分雨が降るでしょう」という推測的な表現です。
- (12) **イ. Will you pass the exam next week?**
試験合格についての可能性を尋ねるため will を使用します。どちらでも可能ですが、標準レベルではこの場合 will が一般的です。
- (13) **ア. The children are going to play baseball.**
既に計画された予定を表すため be going to を使用します。「する予定です」という確実な未来の計画です。
- (14) **He will fail to enter that university.**
瞬時の予測を表すため will を使用します。「彼はその大学の入試に失敗するでしょう」という意味です。
- (15) **My parents are going to buy a new house at the end of this month.**
既に計画された購入予定を表すため be going to を使用します。「購入する計画です」という確実な予定です。